

**こども若者★いけんぷらす
いけんひろば**

**悩みや困りごとがある時
あなたは誰かに相談できますか？**

フィードバック資料

2024年11月15日（金）～12月1日（日）アンケート開催

2024年11月23日（土） 対面開催

2024年11月25日（月）オンライン開催

2024年度「こども若者★いけんぷらす」事業

1.開催概要（対面/オンライン/アンケート）

2.意見の活用について

- ①つながりサポーターの養成にかかる有識者検討会
- ②孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム分科会 1

3.内閣府（テーマ担当省庁）より



1. 開催概要

テーマ	悩みや困りごとがある時 あなたは誰かに相談できますか？
担当省庁	内閣府
テーマ説明	新型コロナウイルスの影響で友達と遊ぶことができず、寂しい気持ちになった人も多いと思います。インターネット上で動画をみたりゲームをしたりして1人で遊ぶ時間が増えた人もいるのではないのでしょうか。 今の日本では、大人もこどもも、誰かと話をする機会が少なくなり、つながりが薄くなってしまいう状態（孤独・孤立）が深刻化しています。あなたは悩みや困りごとがある時、誰かに相談できますか？
参加対象者	「こども若者★いけんぷらす」の「ぷらすメンバー」に登録している方のうち、小学4年生～中学生



対面	
開催日時	令和6年11月23日（土）14:00～16:00
参加者	○1班 小学生1名、中学生2名 ○2班 小学生3名

Webex（オンライン）	
開催日時	令和6年11月25日（月）19:00～21:00
参加者	○1班 小学生3名、中学生1名

WEBアンケート	
開催日時	令和6年11月15日（金）～12月1日（日）
参加者	回答数：61件



今回のいけんひろばでいただいた意見は、
「つながりサポーターの養成にかかる有識者検討会」や
「孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム分科会 1」での議論
に活用いたしました。



- ・ **「つながりサポーターの養成にかかる有識者検討会」について**

孤独・孤立の問題に関する知識を身につけ、身の回りの人に関心を持ち、できる範囲で困っている人をサポートする「つながりサポーター」を養成するために、有識者から意見を聴くための検討会を開催しています。

関連URL : https://www.cao.go.jp/kodoku_koritsu/torikumi/tsunagarisupporters/index.html

- ・ **「孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム分科会 1」について**

孤独・孤立の状態にいたっても、支援を求める声を上げやすい・声をかけやすい社会に向けて、孤独・孤立の理解・意識や機運を社会全体で高める取組の在り方を検討するため、当事者支援を行う団体をはじめとする有識者からの意見を聞く会議を設けています。

関連URL : https://www.cao.go.jp/kodoku_koritsu/torikumi/platform/katsudou/branch2022_1/index.html



2-①. 意見の活用事例について

つながりサポーター養成講座

標準テキスト



いけんひろばでいただいた意見は、

「つながりサポーターの養成にかかる有識者検討会」や
「孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム分科会 1」にて、
事務局から有識者に対して報告されました。



「つながりサポーターの養成にかかる有識者検討会」や 「孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム分科会 1」において、意見を報告した資料

こども若者★いけんぷらす
いけんひろば
悩みや困りごとがある時
あなたは誰かに相談できますか？

報告資料

2024年11月15日（金）～12月1日（日）アンケート開催
2024年11月23日（土）対面開催
2024年11月25日（月）オンライン開催
2024年度「こども若者★いけんぷらす」事業

③ 悩みや不安を抱えている人へのサポートについて	Q17	あなたは、まわりに不安や悩みを抱えている人がいたら、積極的に声掛けや手助けをしようと思いますか。
	Q18	（問17で「しようと思わない」、「わからない」と回答した方のみ）その理由をお答えください。
	Q19	前の質問の「その他」について詳しく教えてください。
	Q20	あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。
④ 孤独を感じることにについて	Q21	現在の孤独感（問16で回答した状況）に強く影響を与えたと思われる出来事はどれですか。
	Q22	前の質問の「その他の出来事」で選んだ出来事について詳しく教えてください。

理由は何ですか。

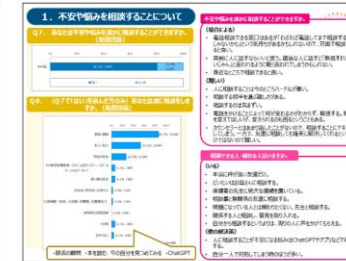
07 こども若者★いけんぷらすの実施

こども版テキストの作成にあたり、対面・オンライン・WEBアンケートの3つの方法でこどもたちの生の声を聞き取った。
【不安や悩みを誰かに相談することができますか】という設問(Q.7)について、約80%が「はい」と回答している中で、「相談するのは気まずい」、「適当な人に話すと「無視すればいいじゃん」と軽く扱われてしまいそう」など、こどもの正直な気持ちが表れる回答がみられた。
また、【まわりに不安や悩みを抱えている人がいたら、声掛けや手助けをしようと思いますか】という設問(Q.17)に対しては約70%が「しようと思う」と回答している中で、「手を差し伸べるというイメージがわからない」「どのように行動していいかわからない」といった課題点も見つかり、調査の結果を踏まえ、こどもに向けたつながりサポーター養成講座の有用性も明確になった。

アンケートの質問内容

Q1	性別
Q2	学年
Q3	あなたは、まわりに不安や悩みを抱えている人がいたら、積極的に声掛けや手助けをしようと思いますか。
Q4	あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。
Q5	現在の孤独感（問16で回答した状況）に強く影響を与えたと思われる出来事はどれですか。
Q6	前の質問の「その他の出来事」で選んだ出来事について詳しく教えてください。
Q7	あなたは、まわりに不安や悩みを抱えている人がいたら、積極的に声掛けや手助けをしようと思いますか。
Q8	あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。
Q9	現在の孤独感（問16で回答した状況）に強く影響を与えたと思われる出来事はどれですか。
Q10	前の質問の「その他の出来事」で選んだ出来事について詳しく教えてください。
Q11	あなたは、まわりに不安や悩みを抱えている人がいたら、積極的に声掛けや手助けをしようと思いますか。
Q12	あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。
Q13	現在の孤独感（問16で回答した状況）に強く影響を与えたと思われる出来事はどれですか。
Q14	前の質問の「その他の出来事」で選んだ出来事について詳しく教えてください。
Q15	あなたは、まわりに不安や悩みを抱えている人がいたら、積極的に声掛けや手助けをしようと思いますか。
Q16	あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。
Q17	あなたは、まわりに不安や悩みを抱えている人がいたら、積極的に声掛けや手助けをしようと思いますか。
Q18	あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。
Q19	現在の孤独感（問16で回答した状況）に強く影響を与えたと思われる出来事はどれですか。
Q20	前の質問の「その他の出来事」で選んだ出来事について詳しく教えてください。

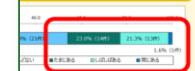
- 対象：「こども若者★いけんぷらす」の「ぷらすメンバー」に登録している小学4年生～中学生
- 回答内訳：対面6名、オンライン4名、WEBアンケート61件
- 集計結果：（間にはえはHPのリンク）



14

を感じることにについて

は、孤独であると感じることがあります。（複数回答）



感じるほどではありませんが、少し感じることもあります。自分自身で気持ちを調整することができず、友達や家族に話を聞いてほしいという気持ちがあります。

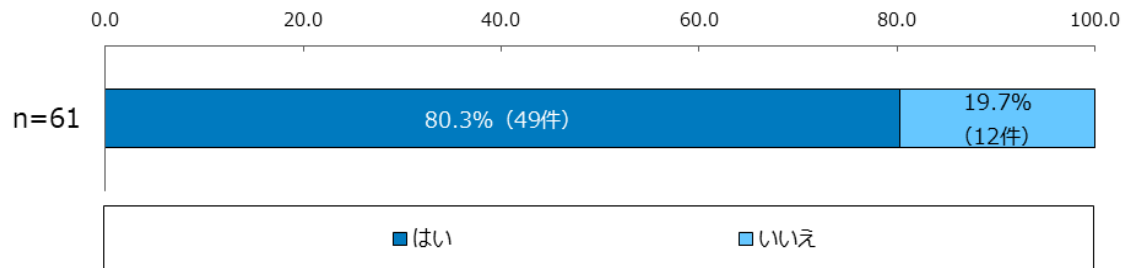
「孤独感が「常にある」「しばしばある」「たまにある」と回答した人が、45.9%（約4割）

15

2-②. いただいた意見に対するコメント・その後の活用について

いけんぷらすの実施により分かった結果

Q7. あなたは不安や悩みを誰かに相談することができますか。(単数回答)



いけんひろばでいただいた意見は、「つながりサポーターの養成にかかる有識者検討会」や「孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム分科会1」にて、事務局から有識者に対して報告されました。



- 「まわりに不安や悩みを抱えている人がいたら、積極的に声掛けや手助けをしようと思いますか。」という質問に対して、今回のテーマに協力いただいた、**こども若者の70.5%が「しようと思う」と回答**した。



いただいた意見へのコメント・その後の活用

※ 「つながりサポーターの養成にかかる有識者検討会」や「孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム分科会1」における議論の様子

- このような数字がデータとして出ていることについて、**18歳以上向けのつながりサポーター養成講座で言及してみる**とよい。
- 講師向けのテキストに、16歳以上の実態調査の情報と併せて、**いけんぷらすでの調査結果も入れておく**とよい。
- 学校の授業における講座実施を想定していたが、今回のいけんぷらすのように、**違う学校のこども同士で一緒に学ぶことで、お互いに違いを認識することも有効**と感じた。**今後のつながりサポーターの養成にあたって、そのような視点も入れていきたい。**



こども・若者のみなさんから聴いたご意見は、
小学校高学年および中学生を対象とした
「つながりサポーター養成講座（こども版）」の
講師となる方向けのテキストに反映するなどの
検討を進めてまいります。
多くの意見をいただき、ありがとうございました。

